

茶 羅 仏 だ よ り

17号

未曾有の地震災害

未曾有の巨大地震と大津波によって、東北・関東をはじめ、国内の広域な範囲に、甚大なる被害がもたらされ、今なお予断を許さない状態であります。深いかなしみの中で苦難を生活を強いられている方々へ、心よりお見舞いを申し上げると共に、全力を挙げて災害救援活動に取り組む多くのボランティアの方々に頭が下がります。みなさんのご親戚や友人に被災された方もあると聞いております。南砺市においても相馬市への支援が取り組まれています。なぜ相馬市なのかといえば、江戸時代の天保年間に南砺地方から多くの関東移民があり、移民の子孫が南砺地方を遠祖のふるさとと思っているのです。

金戸からも関東移民がありかつて茨城県から先祖のルーツとして訪ねて来た方がありました。法名の住職印が専徳寺の先祖であることは間違いなかった。専徳寺門徒でも是安村清吉が天保二年に福島県相馬中村藩へ移民したことは分かっている。

ふるさとづくり事業初年度事業

昨年はふるさとづくり事業啓発の年度でしたが、今年度からは具体的な事業がスタートします。今年度は①古文書調査②伝承の採集③村史新聞の発刊④史跡掲示板の設置⑤児童の江ざらえ参加⑥石仏の調査⑦県外先進地視察などが計画されています。単年度や複数年にまたがる事業があります。

みなさんにご協力を頂くことも多くあると思いますがよろしくお願ひします。

古地図の復元なる

金戸公民館の史料を調査して明治・大正・昭和初期の記録類が多くありました。南山田小学校が誘致される以前であろうと思われる古地図が2種類が残っていましたが、その原図を下に松田良信さんに復元してもらいました。川や江や長堤・丸堤の位置が鮮明になりました。



金戸を築いてきた遠祖たち ~昭和2・30年代の写真~



農耕馬の大会があったのだ。現在の中川と乗松の間でなかろうか？間違っていたら知らせてください。金戸だけの大会なのか、またどのような審査をしたのか判らないので、記憶ある方はそれも教えてください。



防火訓練なのか宮本登喜宅の南から放水している。道路や田んぼに物見の人ばかりであるが、野口停車場線・桜ヶ池用水が野口方面に曲がりくねっている。南山田小学校体育館の奥に音楽室と裁縫室の和室があったことが思い出される。外側には温度と湿度を観測した百葉箱があり柵で囲まれていた。



朝日八左衛門から松田助左衛門、中川尚三の梨園を望むが、「中江」が金戸堀から流れている。水廻し人足以外の者が水に手を着けた時は、一昼夜その水口に番人を立て監視されて、その人夫賃は万造の際に徴収されたと云う。



子供ふるさとづくりの農事体験として4月3日の「江浚い」に多くの子供達が参加し手伝ってくれました。大人も子供も村中が協力している地域は金戸だけです。自然体験教室の「筍掘りとホタル川観察」を5月8日に開催しました。コンクリート底打ちが一部していない場所にカワニナが生育し、ホタルが乱舞するようになりました。不作の年で小さいものばかりでしたが、親子して慣れない手つきで筍掘りをしました。